TRINITY REPORT



第90期中間報告書 2023年4月1日 - 2023年9月30日

▲ トリニティ工業株式会社

証券コード:6382

テクノロジーで 地球にやさしい未来へ



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社第90期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の決算が終了いたしましたので、業績等につきましてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、個人消費は緩やかに回復し、企業収益は概ね好調な動きがみられるものの、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によりエネルギー価格の高騰が続くなど、依然として不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、お客様のカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへ積極的に貢献するとともに、設備部門では、既受注プロジェクトの着実な遂行、塗装機器の収益拡大、更なる非自動車産業への拡販、新製品の開発に取り組んでまいりました。

自動車部品部門では、大型成型品の生産拡大等を通じお客様の期待に応えるとともに、異業種など新たな領域への拡大や変種変量に強い柔軟な生産体制の構築に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は154億7百万円と前年同期と比べ23億1千3百万円 (17.7%増)の増収となりました。営業利益は8億6千7百万円と前年同期と比べ8億3千5百万円 (2,561.1%増)の増益、経常利益は11億2千3百万円と前年同期と比べ8億7千8百万円 (358.4%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千万円と前年同期と比べ3億5千万円 (113.2%増)の増益となりました。

当期の中間配当につきましては、業績及び経営環境等を総合的に勘案し、1株につき15円とさせていただきます。

第3四半期以降は、世界情勢の変化や為替の円安傾向など先行き不透明な状況ではありますが、収益基盤の強化に努め、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えております。

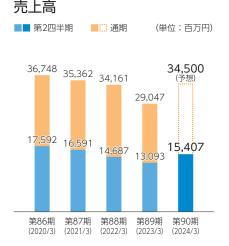
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い 申しあげます。



2023年11月 代表取締役社長 玉木 利明



連結業績 ハイライト







■....通期

(単位:百万円)

親会社株主に帰属する四半期純利益







当社グループは設備の設計・製造及び販売、自動車部品の製造及び販売を主な業務としております。

事業区分	事業内容	主要製品	
設備部門	塗装の入口から出口まで最新技術と環境技術で構築	前処理装置 電着塗装装置 塗装ブース・空調装置 乾燥炉	
	小規模プラントから巨大プラントまで塗装に関するプラント全工程のプランニング・設計・製作・施工、さらにはアフターサービスまで一貫したサービスを提供いたします。		
	高品質、省エネ、低コスト、より環境にやさしい塗装機器	各種塗装機 塗装ロボットシステム 塗料供給システム 電界流動粉体静電装置	
	塗装システムは省エネ・省資源・省人化・無公害・作業環境向上などを技術的 目標として開発され、塗装プラントの効率化と安全性の向上に大きく寄与いたし ます。		
	「熱・水・空気」に関連する技術をフルに駆使・応用	熱処理炉	
	幅広い産業分野の多様な設備機械の開発・設計を行い、お客様のご要望に応じ 様々な製品を提供いたします。	オートクレーブ 静電塗油装置 他	





売上高 10,489 百万円 売上高構成比率 68.1% 設備部門は、塗装設備納入等の増加により 売上高は104億8千9百万円と前年同期と 比べ9億1百万円 (9.4%増) の増収となり ました。



超高塗着エアレス塗装機



塗装プラント (ブース内)

	事業区分	事業内容	主要製品
É		世界トップクラスの意匠表現を、塗装技術力をベースに、	センタークラスターパネル
	自動車部品部門	アイデアとセンスで実現	コンソールパネル
		環境に配慮した「Tri-D³eco(トライデコ)」を主軸に内装部品及び外装部品の成形と塗装を手掛けており、企画・設計から金型、表面処理、組付けまでを一貫する事業展開を実施しております。	ドアスイッチベース ステアリングホイール ロッカーモール 他





自動車部品部門は、内装部品及び外装部品の販売の増加により売上高は49億1千8百万円と前年同期と比べ14億1千2百万円(40.3%増)の増収となりました。



自動車部品 (外装部品)



自動車部品 (内装部品)



連結財務諸表(要旨)

• 連結貸借対照表

科目	当第2四半期末 (2023年9月30日現在)	前期末 (2023年3月31日現在)
流動資産	26,877	26,147
固定資産	12,952	12,567
資産合計	39,830	38,715
流動負債	8,851	9,291
固定負債	1,768	1,464
負債合計	10,620	10,756
株主資本	26,591	26,143
その他の包括利益累計額	1,928	1,147
非支配株主持分	689	668
純資産合計	29,209	27,959
負債・純資産合計	39,830	38,715

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円未満切捨て)

科目	(2023年4月1日~ 2023年9月30日)	(2022年4月 1 日~ 2022年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	38	2,015
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 366	△ 139
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 335	△ 681

(1株当たり情報)

現金及び

現金及び

1株当たり純資産 1株当たり四半期純利益

現金同等物の期首残高

現金同等物の四半期末残高

当第2四半期累計

当第2四半期累計

13,893

13,442

1,772円53銭 41円08銭

11,064

12,596

当第2四半期累計 前第2四半期累計

(単位:百万円未満切捨て)

前第2四半期累計 前第2四半期累計

1,677円18銭

18円90銭

• 連結損益計算書

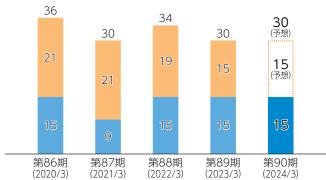
科目	当第2四半期累計 (2023年4月1日~ 2023年9月30日)	前第2四半期累計 (2022年4月1日~ 2022年9月30日)
売上高	15,407	13,093
営業利益	867	32
経常利益	1,123	245
税金等調整前 四半期純利益	1,123	563
親会社株主に 帰属する四半期純利益	660	309

■ 1株当たり配当金



(単位:円)

(単位:百万円未満切捨て)



トピックス

各種展示会への出展について

当社は、2023年9月、東京ビッグサイトで開催された製品開発技術展「N-Plus」、2023年10月、幕張メッセで開催された塗料・塗装設 備展「コーティングジャパン」に出展しました。

「N-Plus」は、ものづくりにおける課題解決からサステナビリティ分野、空飛ぶクルマ分野まで、全12の専門展示会で構成された複合展示会です。 自動車部品部門のコア技術である『塗装・水圧転写・Tri-Deco』をベースに、あらゆる加飾表現(透過、触感など)を提案しました。東海 地区ではお会いできないお客様とも会話ができ、当社の技術力をアピールすることができました。

「コーティングジャパン」は、塗装ロボットから粉体塗料・コーティングまでが一堂に集結する専門展です。非自動車市場のお客様へ カーボンニュートラルに貢献できる超高塗着エアレス塗装機、オール電化ライン等のCO。排出量低減に向けた製品を提案しました。多くの お客様にお越しいただき、当社の総合エンジニアリング会社としての技術力をアピールすることができました。

今後も展示会を通じて、当社の技術力、環境技術をより多くのお客様に認識していただき、ビジネス拡大に取り組んでまいります。









製品開発技術展「N-Plus」

塗料・塗装設備展「コーティングジャパン」



コーポレート・データ (2023年9月30日現在)

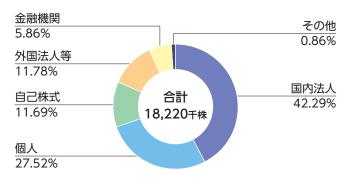
■ 商		リニティエ 980年に合併				3)	
- 設	立 19	946年10月	2⊟				
■本店所在	地愛	知県豊田市	柿本町	一丁	目9都	番地	
■ 事 業			好工場 田原営			店 大阪州営業所	 页支店 f
グループ会	社 子	会社10社	関連	全社	15社		
■資 本	金 13	8億1,100万	河				
■従業員	数連	結966名	単体78	32名			
■ 役	員						
取締役社長	玉木	利明	取	締	役	光田	禎宏
取締役副社長	細江	昌樹	取	締	役	伊藤	恵一
専務取締役	飯田	基博	取	締	役	Ш⊞	智博
専務取締役	乗安	弘治	社夕	和和	稅	金子	芳樹
常務取締役	高林	伸二	常勤	加監査	至 役	青木	徹
常務取締役	井村	明広	社夕	監査	全	宮部	義久
常務取締役	久米》	閏一郎	社夕	監査	至 役	本間	圭祐
常務取締役	成田	年男	社夕	監査	役	ШШ	美典
■株式の状		行可能株式 行済株式の		, .	,	000株 000株	
■ 株 主	数 2,6	616名					

主 • 大 株

株主名	持株数 (千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	5,895	36.64
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	811	5.04
豊田通商株式会社	580	3.61
株式会社三井住友銀行	358	2.22
株式会社三菱UFJ銀行	336	2.09
株式会社タナベスポーツ	292	1.82
株式会社河上澄夫商店	239	1.49
原田 義久	229	1.42
安冨 次子	218	1.35
株式会社豊田自動織機	200	1.24

(注) 持株比率は自己株式 (2,129,946株) を控除して計算しております。

• 所有者別株式分布状況





株主メモ

ド:6382 証

上 場 証券 取引 所:東京証券取引所 スタンダード市場 度: 毎年4月1日から翌年3月31日まで 事 年

配当金受領株主確定日:3月31日 中間配当金受領株主確定日: 9月30日 定 株 主 総 会:6月

主 名 簿 管 理 人:三菱UFJ信託銀行株式会社

別 □ 座 管 理 機 関 特

先 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 絡

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

電話 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 方 法:電子公告

公告掲載URL https://www.trinityind.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告をすることがで きない場合は、日本経済新聞に掲載する方

法により行います。)

数:100株 単 元 株 式



(ご注意)未受領の配当金のお支払及び特別口座に記録された株主様のお手続きは、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎさせていただきます。なお、 証券口座に記録された株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社経由に てお願いいたします。

熱・水・空気の総合エンジニアリング会社 TRINITY INDUSTRIAL CORP.











